

# 地域観光のオピニオンリーダー

奈良県旅行業協会



地域に根差した活動を展開したい、と話す中島会長

一般社団法人奈良県旅行業協会（中島昭人会長）は5月18日、奈良市のホテルリカーレ春日野で2022年度定時総会を開いた。22年度事業は、県観光事業や各行政と連携し地域観光資源を発掘することをうたった。

具体的には①地域行政との連携を深める②「いまならキャンペーン」へ積極的に参画し、地域社会へ貢献する③実質業務の補完的役割を果たすセミナーやウェブ活用促進を図る④県内宿泊・食事施設などへの全旅クーポン

「今まで私たちは奈良県用振興部の平田千江子観光局長は「これまで以上に奈良の観光の推進役に根差した旅行会社として、地域の観光行政を支えるオピニオンリーダー」としての使命感を持つことが大事です。ネットワークを最大限に活かして、培ってきた『おもてなし精神』と企画力を持って、存在意義のある活動を展開していきたい」と、今年度事業に対して力強く方針を示した。

奈良県産業・観光・雇

「ウイズコロナ時代の旅業」をテーマにしたミ

ニシンボジウムを開き、和歌山県白浜温泉のホテルシーモア取締役の古川 涇一営業本部長と中島会長が登壇。古川さんは、自社の中田力文社長の考案で、中小旅行会社への営業を担う大阪案内所をさらに強化するとし、「コロナ禍は営業の最大のチャンスです」。中島会長は、コロナ禍で遠方に行けない顧客に対して自社が所在する御所市の観光の魅力を掘り起こすツアールを実施し、成果を上げたことを伝えた。